

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(内子高等学校)

学校番号(33)

評 価 実 施 日		令 和 6 年 2 月 22 日 (木)	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	越 智 益 子	同窓会副会長	
	清 家 真 二	内子中学校教頭	
	宮 岡 圭 介	文化・体育後援会副会長	書面
	沼 井 高 志	PTA会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>商業コースの生徒による総合的な探究の時間での課題研究の発表を聞いて感心した。発表の仕方もよかったし、活動の内容もよかった。このような生徒主体の学習活動が行われているのはよいことだと思った。しかし、町内に住んでいながら、こうした活動のことは知らなかった。このワークショップの宣伝をはじめ様々な活動について、もっと発信するとよい。</p> <p>(2) 生徒指導（基本的な生活習慣・部活動・特別活動）</p> <p>真面目で落ち着いた高校生活を送っている様子がかがえる。清閑な様子は美德ではあるが、もう少し学校全体の勢いなどが外部に発信されるとよい。</p> <p>基本的な生活習慣の皆勤率についてはDという自己評価であるが、これは中学校にも小学校にも同様な傾向がある。もちろん体調は大事なのだが、コロナ禍以降に子どもも保護者もやや神経質になって欠席が増えた感がある。高校では欠席状況が就職などに直結するのではないかと懸念するが、大丈夫か。</p> <p>部活動においては、どの部もよく頑張っているが、特に本年度は、野球部・郷土芸能部・ライフル射撃部陸上競技部と、メディア等でも「内子高校」の名前を聞くことが多く、生徒の活躍が町民としても大変誇らしかった。これからも生徒にとって実りある活動で、地域にも活力をもたらしてほしい。</p> <p>(3) ボランティア活動</p> <p>新型コロナが5類感染症に移行され、地域から様々な活動についての声が掛かり、参加できたことで生徒の有用感の向上にもつながってよかったと、学校から説明があったが、地域のほうが若い力に助けをもらいありがたく思っている。</p> <p>年末には、地域で行っている門松作りのボランティア活動に、今年度も陸上競技部に参加してもらい、地域で喜ばれた。</p> <p>「うちこ文化祭」では、久しぶりに内子高校と内子中学校の吹奏楽部にオープニングで演奏を、またコロナ禍においても継続してきた作品展示を写真部と美術部にもしてもらった。今後も地域を盛り上げるために協力をお願いしたい。</p> <p>中学校の文化祭においても、本来は保護者がするべきところ人数が足りなかったため、卒業生である内子高生にボランティアのお願いをしたが、とても助かり、ありがたかった。</p>	<p>・「分かる授業」はもちろんであるが、細かな日々の取組を継続し「鍛える授業」への工夫をしていく。</p> <p>・3学期から、来年度の総合的な探究の時間について更に充実させるように改善を図っている。総合的な探究の時間を活用し、学びのフィールドを外＝内子町内に出そうとしている。町内の方々にも協力をいただきたいと考えているので、まずはそこから発信していくようにする。</p> <p>・今後も規範意識の高揚と倫理観の向上に努める。今年度に心の教育推進校として研究に取り組んだ、自尊感情の向上によって全体の活気を高めていく。</p> <p>・基本的な生活習慣の大切さについて、集会や学校行事などの折に触れて指導する。また、日頃から安易に欠席することなく、学校に行きたい、学びたいという感覚が育成できるような教育活動を実践する。</p> <p>・欠席については、保護者からの届けによって適正な処理を行っていることを継続していく。</p> <p>・各々が活動内容を一層工夫しながら、活気のある充実した活動を行っていく。他者と協働して自身の技能と内面を成長させる活動に努め、文武両道を目指させたい。活動場所など地域に支えていただいている部が幾つかあるが、地域に感謝の気持ちを持って活動することを継承させたい。</p> <p>・ボランティアに関心の高い生徒は多く、部活動単位や委員会単位、また個人でのボランティア活動への参加が増えている。今後も、活動の安全性等を確認した上で、積極的に地域の催し物等の活動への参加を促したい。</p> <p>・門松作りは、生徒は地元の方にいろいろ教えていただき、慣れない作業ながら楽しく活動できていた。今後も地域の交流を大切にしながら参加させたい。</p> <p>・部活動としても発表の場があることは活動の目標や生徒の励みになるので、今後とも地元の文化祭や祭りといった地域の行事等の地域と関わる活動には意識して目を向けさせ、地域の一員としての自覚を持って取り組ませていきたい。</p> <p>・中学校との連携については、依頼のあったボランティア以外でも、部活動や学習活動において連携を図っていききたいと考えている。</p> <p>・郷土料理等の地域文化を学ぶ活動も継続する。</p>

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(内子高等学校)

学校番号(33)

評 価 実 施 日	令和 6 年 2 月 22 日(木)		
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	越 智 益 子	同窓会副会長	
	清 家 真 二	内子中学校教頭	
	宮 岡 圭 介	文化・体育後援会副会長	書面
	沼 井 高 志	PTA会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>2 教育方針・重点目標について</p> <p>○ 教育方針・重点目標について 明確な目標の下、充実した教育活動がなされていると見受ける。</p> <p>3 学校運営への提言</p> <p>(1) 自己評価の在り方について 概ね適切な評価がなされている。</p> <p>(2) 学校の未来像・存続について 県立高校の志願状況が出ていたが、例年と比較してどうか。 近隣校では長浜高校さんの志願状況の高さが目立っていた。長浜高校は水族館を全国的にアピールできている。学校によって状況は異なるが、もっと生徒主体で内子高校のよさや内子町のよいところを発信してアピールするようにするとよいのではないかと。 さらに、SNSを使ってアピールすることで、生徒自身のスキルを高めることにもつながると思う。 学校の魅力化の一層の推進に期待する。</p> <p>4 その他 心の教育推進校の取組である「元気の出る一言 一人一言集」が興味深い。よい取組であるので、町内の活動にも取り入れられるとおもしろいのではないかと。</p>	<p>・ 今後も教育活動全般を通して、自他を大切に、互いに尊重し合える生徒の育成に取り組んでいく。</p> <p>・ 今後とも適正な自己評価を行う。 ・ 評価項目の見直しは毎年行っているが、引き続き必要な教育内容を検討して項目として取り入れる。</p> <p>・ 志願状況は例年並みであったが、志願変更によって減少が生じた要因を考えたい。 ・ 進路保障をはじめとする教育活動が、地域から信頼され、より魅力的なものになるように取り組んでいく。来年度も1学年3クラスは維持できることになるが、学校の魅力を高め、それらを積極的に発信し、本校で学びたいと思う生徒を増やしたい。 ・ 魅Can部についても大いに発信していきたい。 ・ 地元の中学校と連携した活動を大切に、よりよい活動を模索していきたい。</p> <p>・ 「元気の出る一言 一人一言集」の取組は、次年度も継続を考えている。町の事業計画に添うようであれば、ぜひ連携して町の活性化に貢献したい。</p>